

青年海外協力隊等の経験者を含む社会人・国際協力経験者に対する受験枠や特別措置のある大学・大学院  
2017年度試験実施実績（2018年度入学）

（注）試験概要等は、毎年変更がある可能性があります。応募時には必ず、各大学・大学院へ詳細をお問合せ下さい。

大学/大学院名	学部/研究科名 ・ 学科/専攻名	試験概要
広島大学大学院 (2005年度より実施)	国際協力研究科 ・ 開発科学専攻 ・ 教育文化専攻	【推薦入試（B推薦）】 入学時まで、青年海外協力隊、NGO・NPO等における1年以上の国際交流・国際貢献活動の経験を有し、かつ、国際協力機関・団体が推薦する者 <試験内容> 書類選考、面接
日本福祉大学 (1999年度より実施)	社会福祉学部 ・ 社会福祉学科 経済学部 ・ 経済学科 健康科学部 ・ 福祉工学科 子ども発達学部 ・ 心理臨床学科 国際福祉開発学部 ・ 国際福祉開発学科 看護学部 ・ 看護学科 スポーツ科学部 ・ スポーツ科学科	【社会人入試】 文部科学大臣の定める大学への出願資格を有し、かつ下記のいずれかに該当する者 3. JICAが行う次の海外協力隊事業の隊員として2年以上海外で活動した経験を有する者 ①青年海外協力隊 ②日系社会青年ボランティア ③シニア海外ボランティア ④日系社会シニア・ボランティア またはこれに準ずる海外での活動経験を有する者 <試験内容> 面接
立命館大学大学院 (2006年度より実施)	公務研究科 ・ 公共政策専攻	【社会人推薦入試】 B. 社会人推薦資格 (3)国際協力活動経験者等（青年海外協力隊等）の実績のある者で、機関・団体の推薦のある者 <試験内容> 書類選考、面接
宇都宮大学大学院 (2004年度より実施)	国際学研究科 ・ 国際交流研究専攻	【国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜】 1年以上の国際交流・国際貢献活動（青年海外協力隊、NGO・NPO等における活動）の経験を有する者 <試験内容> 書類選考、面接
帯広畜産大学大学院 (2006年度より実施)	畜産学研究科修士課程 ・ 資源環境農学専攻 ・ 食品科学専攻 ・ 畜産生命科学専攻 畜産学研究科博士前期課程 ・ 畜産衛生学専攻	【国際協力特別選抜】 2年以上の海外ボランティア活動又は国際協力経験がある者対象 <試験内容> 書類選考、面接 ※特別奨学金貸与制度があり、修了後国際協力関係の業務に従事した場合、返還を免除される。
岐阜大学大学院 (2003年度より実施)	応用生物科学研究科 ・ 応用生命科学 ・ 生物環境科学	【社会人特別入試】 教育・研究機関、官公庁、企業等（青年海外協力隊やNPOの実績も含む。）または自営業及び農業に1年以上の経験を有する者で、専攻分野に関して研究意欲のある者 <試験内容> 筆記試験、面接
宮崎大学大学院 (2007年度より実施)	農学研究科 ・ 農学専攻	【社会人入試】 2年以上の海外ボランティア活動または国際協力経験がある者 <試験内容> 書類選考、面接
鹿児島大学大学院 (2005年度より実施)	農学研究科 ・ 生物生産学専攻 ・ 生物資源化学専攻 ・ 生物環境学専攻	【社会人特別選抜】 2年以上（平成29年3月31日までの間）教育・研究機関、官公庁、あるいは企業等（自営業、農林業、青年海外協力隊およびNPOの実績も含む）において上記の教育研究分野に関連した現業に従事している者、又は従事した者 <試験内容> 書類選考、面接
埼玉大学大学院 (2011年度より実施)	人文社会科学研究科 ・ 文化環境専攻 ・ 国際日本アジア専攻	【国際協力特別入試】 青年海外協力隊、外務省専門調査員、国際NGO、海外でのCSR（企業の社会的責任）活動、その他国際協力に関連する機関等で海外における1年以上の国際協力活動の経験を有する者 <試験内容> 書類審査、面接
新潟医療福祉大学大学院 (2012年度より実施)	医療福祉学研究科 ・ 保健学専攻 ・ 健康科学専攻 ・ 社会福祉学専攻 ・ 医療情報・経営管理専攻 ・ 医療福祉学専攻（博士後期課程）	【国際貢献活動経験者特別選抜】 1年以上の国際協力活動の経験を有する者（海外ボランティア又は国際貢献活動を行った、青年海外協力隊、NGOなどの団体・機関からの証明書を提出） <試験内容> 書類選考、面接
東京農業大学大学院 (2012年度より実施)	農学研究科 ・ 農学専攻 ・ 畜産学専攻 ・ 国際農業開発学専攻 ・ 農業経済学専攻 ・ 国際バイオビジネス学専攻 等	【国際協力経験者入試】 一般試験の博士前期課程の出願資格を有する者のうち以下のすべての条件を満たした者 ・ 2年以上の国際協力経験を有する者 ・ 出願前に指導教員（予定者）と研究課題について打ち合わせること ・ 職にある者は、入学後は、休職又は退職をし、学業に専念できること ・ 日本国籍を有すること <試験内容> 書類選考、筆記試験（外国語）、面接
早稲田大学大学院 (2013年度より実施)	アジア太平洋研究科 ・ 国際関係学専攻	【国際協力特別推薦入試】 青年海外協力隊、外務省専門調査員、在外公館勤務経験者、国連職員を含む国際公務員、国際NGO、海外でのCSR（企業の社会的責任）活動、その他国際協力に関連する機関等で海外における1年以上の国際協力活動の経験を有すること <試験内容> 書類審査、小論文、面接 ※国外から出願した場合は、書類審査のみ
杏林大学大学院 (2013年度より実施)	国際協力研究科 ・ 国際開発専攻 ・ 国際文化交流専攻 ・ 国際医療協力専攻 ・ 国際言語コミュニケーション専攻	【国際協力特別選抜】 1年以上の青年海外協力隊などの国際貢献活動経験を有し、当該機関・団体から推薦を得られる者 <試験内容> 書類審査、面接
日本体育大学 (2014年度より実施)	体育科学専攻 ・ 体育科学コース ・ 体育実践学コース	【社会人選抜】 出願資格に該当し、下記のいずれかに該当する者 (2)青年海外協力隊等で海外における体育・スポーツの指導に関わる社会貢献活動の経験が入学時に原則として2年以上ある者 <試験内容> 口述試験、専門科目、プレゼンテーション
吉備国際大学 大学院（通信制） (2015年度実施予定)	連合国際協力研究科	【入学金免除】※選考時措置なし 入学前に、JICAの行う青年海外協力隊（JOCV）の派遣事業に参加し、2年以上の国際協力の経験を有する方は、入学金が免除される旨、HPに記載あり。
<b>NEW</b> 鳴門教育大学院 (2018年度より実施)	大学院学校教育研究科	【選抜試験】教職経験者等は、筆記試験（実技試験）を行いません。以下に該当する者を教職経験者等とします。 ・ 国際教育コースに出願する者で独立行政法人国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊経験を2年間以上有する者。

2016年度の新規実施情報		
東京農業大学大学院 (2016年度より実施)	農学研究科 生物産業学研究科	【長期履修制度を活用したJICAボランティア事業参加】 JICAボランティアとして海外で活動しながら、博士前期課程に在籍することができるプログラム。「4年間の長期履修期間中にJICAボランティア派遣前訓練と2年間の派遣」を原則とし、現地で活動を行いながら指導教員の研究指導等を受け、帰国後スムーズに論文執筆に取組む。

青年海外協力隊の活動で修士号が取得可能な大学院情報		
広島大学大学院	国際協力研究科	【ザンビア特別教育プログラム】 広島大学大学院国際協力研究科の在籍生として青年海外協力隊に参加。現地で協力隊活動に従事しながら、同時に遠隔地在住学生として指導教員を中心に国際協力研究科教員の指導を受け、指定された単位を取得することができる。 標準教育機関は3年6か月（青年海外協力隊所定の訓練と2年間の協力隊活動を含む）。青年海外協力隊参加期間に、インターンシップ(2単位)、フィールドワーク(2単位)、専門科目(4単位)、演習(4単位)の計12単位が取得可能で、残りの最低必要単位(18単位)は、青年海外協力隊参加前の半期と帰国後の半期で取得。 ●募集条件 1. 定員：博士課程前期（修士課程）の学生若干名 2. 青年海外協力隊選考試験：青年海外協力隊に応募し選考試験を受験しなければならない。協力隊に不採用の場合は、広島大学大学院国際協力研究科の一般学生と同等の扱いとなる。
新潟医療福祉大学大学院 (2012年度より実施)	医療福祉学研究科 ・保健学専攻 ・健康科学専攻 ・社会福祉学専攻 ・医療情報・経営管理学専攻 ・医療福祉学専攻（博士後期課程）	【青年海外協力隊等プログラム】 在学期間は原則4年間（派遣期間2年間を含む）。青年海外協力隊等として現地活動中に本研究科教員の指導を受け、帰国後に現地での体験、実践を通じて得られた気づき、課題等を課題研究としてまとめることにより修士の学位取得が可能。（派遣期間中の入学も可能） ●出願資格 JICAボランティア（青年海外協力隊、シニア海外ボランティア、日系社会青年ボランティア、日系社会シニア・ボランティア、8週間以上の海外派遣期間の短期ボランティア）に応募し合格している者。
聖路加国際大学大学院 (2014年度より実施)	看護研究科	【タンザニア連合共和国母子保健支援ボランティア連携事業】 聖路加国際大学大学院看護研究科の在籍生として青年海外協力隊に参加。現地で協力隊活動に従事しながら、同時に遠隔地在住学生として指導教員を中心に看護研究科教員の指導を受け、指定された単位を取得することができる。 標準教育期間は3年（青年海外協力隊所定の派遣前訓練と1年9か月の協力隊活動を含む）。単位取得については、青年海外協力隊参加期間に、助産学演習Ⅱ（フィールドワーク）(2単位)、および実習(6単位)の計8単位が取得可能で、残りの最低必要単位(24単位)は、青年海外協力隊参加前の半期と帰国後の半期で取得。 ●募集条件 1. 定員：博士課程前期（修士課程）の学生若干名 2. 聖路加国際大学大学院出願資格 3. 青年海外協力隊選考試験 ※看護師、助産師、保健師免許のいずれかにもとづく実務経験が3年以上ある者。
東洋大学大学院 (2014年度より実施)	国際地域学研究科 ・国際地域学専攻 ・国際観光学専攻	【JICAボランティア派遣者用プログラム】 JICAボランティアとして海外で活動しながら、博士前期課程に在籍することができるプログラム。「2年間の派遣期間+1年以上の通学」（最低3年間）を原則とし、現地で活動を行いながら指導教員の研究指導等を受け、帰国後スムーズに論文執筆に取組む。 出願前に大学院教務課（03-3945-7250）にコンタクトすること。
東京農業大学大学院 (2016年度より実施)	農学研究科 生物産業学研究科	【長期履修制度を活用したJICAボランティア事業参加】 JICAボランティアとして海外で活動しながら、博士前期課程に在籍することができるプログラム。「4年間の長期履修期間中にJICAボランティア派遣前訓練と2年間の派遣」を原則とし、現地で活動を行いながら指導教員の研究指導等を受け、帰国後スムーズに論文執筆に取組む。

過去に青年海外協力隊等経験者枠の設置、優遇措置等の実施実績のあった大学・大学院
中部大学大学院、神戸情報大学大学院、城西国際大学大学院